

2024年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年12月1日

上場会社名 株式会社ダイサン 上場取引所 東
 コード番号 4750 URL <https://www.daisan-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 武敏
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 財務経理部 (氏名) 河野 良亮 TEL 06-6243-6341
 財務経理課 担当部長
 四半期報告書提出予定日 2023年12月1日 配当支払開始予定日 2023年12月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第2四半期の連結業績（2023年4月21日～2023年10月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第2四半期	5,060	△0.6	△23	—	△26	—	△20	—
2023年4月期第2四半期	5,090	9.4	△121	—	△66	—	△72	—

(注) 包括利益 2024年4月期第2四半期 10百万円 (10.9%) 2023年4月期第2四半期 96百万円 (762.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第2四半期	△3.12	—
2023年4月期第2四半期	△11.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2024年4月期第2四半期	10,258	5,325	51.9	830.46
2023年4月期	10,097	5,379	53.3	838.82

(参考) 自己資本 2024年4月期第2四半期 5,325百万円 2023年4月期 5,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年4月期	—	11.00			
2024年4月期（予想）			—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年4月期の連結業績予想（2023年4月21日～2024年4月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	9.4	300	—	336	—	186	—	29.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年4月期2Q	7,618,000株	2023年4月期	7,618,000株
② 期末自己株式数	2024年4月期2Q	1,205,162株	2023年4月期	1,205,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年4月期2Q	6,412,838株	2023年4月期2Q	6,412,888株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、社会経済活動の正常化が進んだことから、景気は緩やかな回復基調となりましたが、不安定な国際情勢、資源・エネルギー及び原材料価格の高止まり、世界的な金融引き締め、円安の進行や消費者物価の上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社に関連の深い住宅業界については、住宅の値上がりなどを背景として、新設住宅着工戸数は全体で減少傾向が続きました。

こうした状況において、当社では当事業年度を最終年度とする中期経営計画を進めており、「既存事業の再構築と事業間連携の強化」、「新市場の創造と東南アジアでのビジネス基盤確立」、「未来社会に貢献するヒト創りと商品サービスの開発」、「ヒトとデジタル技術をつないだビジネス革新」、「ES(従業員満足)ファーストのガバナンス体制構築」を5つの重点戦略として設定し、将来を見据えた収益性の高い事業構造への転換を進めております。当期間においては、人材育成のためオープンバッジを用いた社内研修制度の開始など、人的資本への投資を計画通り進めました。また、全社員を対象とした給与のベースアップを実施しました。

なお、全社業績に関して、売上高は昨年並みとなりましたが、利益面では回復が進みました。これは前期に計上した減損損失による減価償却費の減少等の影響によるものです。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,060百万円（前年同期比0.6%減）、営業損失23百万円（前年同期は営業損失121百万円）、経常損失26百万円（前年同期は経常損失66百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失20百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失72百万円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①施工サービス事業

施工サービス事業につきましては、住宅の値上がりによる消費者の購買意欲の低下などを背景として、新設住宅着工戸数の減少が続く中、主要な取引先である大手ハウスメーカーの住宅の受注は昨年比で低調に推移しました。

このような状況の中、当事業においては、商品別では販促を進めてきた中層大型建築物向け工事の売上が伸びましたが、売上全体では微増となりました。利益面では、昨年来の物価上昇を背景に、業界及び施工スタッフの地位向上に向けた値上げ交渉を進めましたが、給与のベースアップや、レンタル市場の開拓を目論んだ部材の追加投入による減耗費の増加等もあり、当期間における利益への影響は限定的なものとなりました。

以上の結果、売上高は3,507百万円（前年同期比2.3%増）、売上総利益は917百万円（同3.9%減）となりました。

②製商品販売事業

製商品販売事業につきましては、民間建設投資は企業収益の改善等を受けて比較的堅調に推移したものの、鋼材価格の高止まりとそれに伴うレンタル需要の高まりから、市況全体で購買意欲の低下が見られました。

このような状況の中、当事業においては、商品別では中層大型建築物向けに安全性を高めた次世代足場「レボルト」について需要が増加したものの、前年同期では販売価格引き上げ前の一時的な買い増しの動きがあったことから、売上、利益ともに前年同期比で減少となりました。

以上の結果、売上高は544百万円（前年同期比37.0%減）、売上総利益は152百万円（同46.6%減）となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、在外子会社のあるシンガポールでは、欧州及び中国の景気減速への懸念などを受けて、景気は鈍化しました。

このような状況の中、当事業ではコロナ規制撤廃によるワーカー採用正常化により売上は拡大し、利益面では現場管理の厳格化による採算性の改善、前期に計上した減損損失による減価償却費の減少などにより、利益が大きく伸びました。

以上の結果、売上高は972百万円（前年同期比27.7%増）、売上総利益は253百万円（同74.1%増）となりました。

④その他

その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は36百万円（前年同期比3.1%増）、売上総利益は28百万円（同2.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少141百万円、賃貸用仮設材の増加339百万円、棚卸資産に含まれる商品及び製品の減少額89百万円、有形固定資産のその他に含まれる使用権資産の増加146百万円等により前連結会計年度末に比べ160百万円増加の10,258百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加54百万円、電子記録債務の増加99百万円、短期借入金の増加57百万円、流動負債のその他に含まれるリース債務の増加70百万円、長期借入金の減少69百万円等により前連結会計年度末に比べ214百万円増加の4,932百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ53百万円減少の5,325百万円となり、自己資本比率は51.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期の業績予想に関する事項につきましては2023年6月5日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,267,362	1,125,495
受取手形、売掛金及び契約資産	2,133,875	2,112,612
電子記録債権	128,048	69,086
棚卸資産	1,317,191	1,267,321
賃貸用仮設材	1,280,801	1,620,036
その他	87,382	43,556
貸倒引当金	△32,093	△33,914
流動資産合計	6,182,568	6,204,194
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,656,757	1,656,757
その他(純額)	1,090,337	1,226,730
有形固定資産合計	2,747,095	2,883,487
無形固定資産		
その他	129,512	113,010
無形固定資産合計	129,512	113,010
投資その他の資産		
その他	1,061,658	1,084,616
貸倒引当金	△23,741	△27,251
投資その他の資産合計	1,037,916	1,057,364
固定資産合計	3,914,524	4,053,862
資産合計	10,097,092	10,258,057
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509,133	564,092
電子記録債務	272,816	372,335
短期借入金	1,792,640	1,850,000
未払法人税等	770	4,700
賞与引当金	146,469	101,615
その他	1,072,298	1,155,646
流動負債合計	3,794,128	4,048,391
固定負債		
長期借入金	618,353	548,355
債務保証損失引当金	34,199	30,699
資産除去債務	139,193	140,307
その他	132,024	164,718
固定負債合計	923,771	884,081
負債合計	4,717,900	4,932,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年10月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	930,603	930,603
利益剰余金	5,147,849	5,063,713
自己株式	△919,012	△919,012
株主資本合計	5,259,440	5,175,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△33	59
為替換算調整勘定	119,785	150,220
その他の包括利益累計額合計	119,752	150,280
純資産合計	5,379,192	5,325,585
負債純資産合計	10,097,092	10,258,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月21日 至 2022年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月21日 至 2023年10月20日)
売上高	5,090,253	5,060,688
売上原価	3,676,640	3,708,800
売上総利益	1,413,613	1,351,887
販売費及び一般管理費	1,534,755	1,374,937
営業損失(△)	△121,141	△23,049
営業外収益		
受取利息	4,216	1,727
受取配当金	138	193
助成金収入	50,405	15,190
その他	12,349	6,943
営業外収益合計	67,110	24,054
営業外費用		
支払利息	7,669	20,441
減価償却費	2,405	2,596
貸倒引当金繰入額	—	3,500
その他	2,712	1,035
営業外費用合計	12,787	27,572
経常損失(△)	△66,819	△26,567
特別利益		
固定資産売却益	15	5,086
債務保証損失引当金戻入額	—	3,500
特別利益合計	15	8,586
特別損失		
固定資産除却損	650	80
減損損失	—	13,144
固定資産売却損	32	—
特別損失合計	682	13,224
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,486	△31,205
法人税、住民税及び事業税	3,193	4,150
法人税等調整額	2,990	△15,349
法人税等合計	6,183	△11,198
四半期純損失(△)	△73,670	△20,007
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,525	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72,144	△20,007

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月21日 至 2022年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月21日 至 2023年10月20日)
四半期純損失(△)	△73,670	△20,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	93
為替換算調整勘定	170,322	30,434
その他の包括利益合計	170,341	30,528
四半期包括利益	96,671	10,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,213	10,520
非支配株主に係る四半期包括利益	1,458	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月21日 至 2022年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月21日 至 2023年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△67,486	△31,205
減価償却費	123,712	98,514
減損損失	—	13,144
のれん償却額	29,068	—
長期前払費用償却額	4,497	10,611
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,677	3,227
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△47,405	△45,223
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	1,650	△3,500
受取利息及び受取配当金	△4,355	△1,920
助成金収入	△50,405	△15,190
支払利息及び社債利息	7,669	20,441
有形及び無形固定資産除売却損益 (△は益)	667	△5,005
売上債権の増減額 (△は増加)	△71,111	122,122
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△72,223	49,869
賃貸用仮設材の増減額 (△は増加)	△165,498	△334,328
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,669	148,538
その他	△18,150	△11,517
小計	△333,361	18,577
利息及び配当金の受取額	4,355	1,920
利息の支払額	△6,255	△11,534
法人税等の支払額	△78,640	△220
法人税等の還付額	—	41,287
助成金の受取額	50,405	15,190
営業活動によるキャッシュ・フロー	△363,497	65,221
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△600
投資有価証券の売却による収入	132,840	—
有形固定資産の取得による支出	△205,726	△17,469
有形固定資産の売却による収入	475	5,086
無形固定資産の取得による支出	△57,390	△3,975
子会社株式の取得による支出	△96,502	—
貸付けによる支出	△33,258	△2,906
貸付金の回収による収入	5,929	4,727
投資不動産の賃貸による収入	2,102	2,635
保険積立金の積立による支出	△375	△504
保険積立金の解約による収入	5,899	—
差入保証金の差入による支出	△2,628	6,108
差入保証金の回収による収入	26	—
その他	△767	△12,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△249,374	△19,557
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	165,884	—
長期借入金の返済による支出	△69,998	△69,998
リース債務の返済による支出	△31,936	△72,985
配当金の支払額	△70,599	△64,173
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△93,755	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,404	△207,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	41,202	19,626
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△672,074	△141,867
現金及び現金同等物の期首残高	1,393,781	1,267,362
現金及び現金同等物の四半期末残高	721,706	1,125,495

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月21日 至2022年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,428,623	865,187	761,280	5,055,092	35,161	5,090,253
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,428,623	865,187	761,280	5,055,092	35,161	5,090,253
セグメント利益	954,284	285,874	145,614	1,385,773	27,840	1,413,613

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月21日 至2023年10月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,507,600	544,743	972,075	5,024,419	36,268	5,060,688
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,507,600	544,743	972,075	5,024,419	36,268	5,060,688
セグメント利益	917,160	152,662	253,485	1,323,309	28,578	1,351,887

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	全社（共通）	合計
減損損失	13,144	13,144